

## スプレー式 高温用 断熱塗料

# ヒートガード・ペイント(断熱塗料)

### FC-137

#### 特徴

スプレー式の塗料になっていますので、複雑な形状の部品でも簡単に断熱加工を行なえます。塗膜中に多数の独立気泡を含むため、優れた断熱特性を示します。ゴム状の断熱材ですので、温度変化の繰り返しによる割れ・剥離がありません。300 の高温に耐えますので、各種高温部の断熱および火傷防止に使用できます。

#### 用途

バルブ操作部の断熱  
高温部が露出した箇所の火傷防止  
ボイラー配管の断熱  
熱交換器の断熱  
各種熱流出部の断熱

熱伝導率	0.108 W/(m・K)
塗布面積 420mlスプレーを使用して、 0.5mmの膜厚で塗布した場合	0.5 m <sup>2</sup>

#### 使用方法

- 対象物を常温まで冷ましてください。  
\* 温度が高いまま塗布すると密着性が低下します。
- 表面を脱脂洗浄してください。
- 缶を逆さにして上下によく振ってください。  
\* 内容液が二相に分離していますので、よく混ぜてください。
- 対象物より20～30cm離してスプレーしてください。  
\* 使用中も時々缶を振り、中身を混ぜてください。  
\* 重ね塗りをする場合は、20分ほど乾燥させてから再度塗布してください。
- 常温で乾燥させてください。 (\*乾燥時間は、表1参照)  
\* 乾燥が不十分だと、割れ、剥離の原因となります。  
\* 高温で乾燥させると、割れ、剥離の原因となります。
- 使用後は缶を逆さにして空吹きしてください。
- 加熱して硬化させてください。 (\*加熱時間は、表2参照)

表1 膜厚-乾燥時間

0.5mm未満	1時間
1.0mm	2時間
2.0mm以上	8時間

表2 温度-加熱時間

200	30分
150	1時間
100	3時間
70	20時間

#### 使用上の注意

高温部に直接スプレーしないでください。  
火気や高温部の近くで使用しないでください。  
締め切った場所で使用しないでください。  
40 以上になる場所に保管しないでください。

**火気厳禁 危険物第四類第1石油類 高圧ガス**

#### 内容量・荷姿

内容量：420ml 1ケース=24本入



ファインケミカルジャパン株式会社

〒135-0032 東京都江東区福住 1-15-3

TEL 03-3643-8877 FAX 03-3643-8890

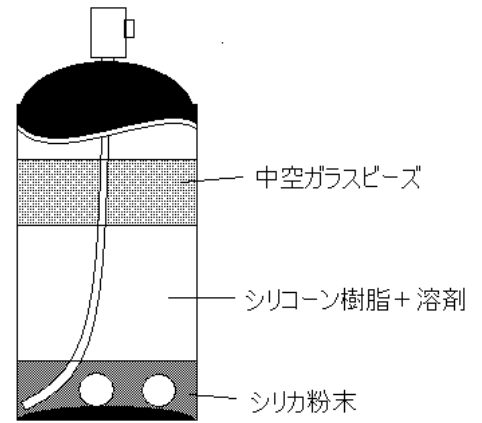
## ヒートガードペイント 詰まりを防ぐ使用方法について

### 状態 1 :

FC-173ヒートガードペイントは分離しやすい成分を含んでおり、静置した状態では次のように内容液が三層に分離しています。この状態で噴射するとバルブおよび噴口でシリカ粉末が詰まります。

### 見分け方 :

缶を振ってもガラス玉の音がしません。



静置した状態

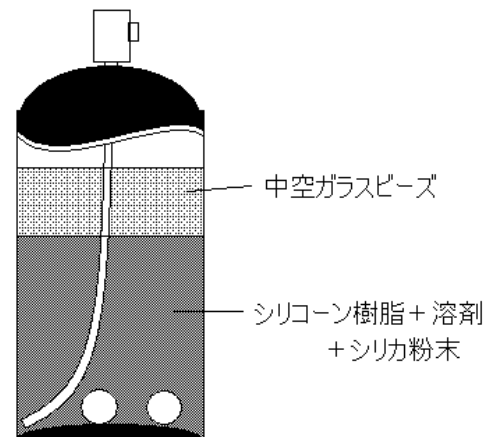
### 状態 2 :

攪拌玉が動く状態まで振ると右のようになりますが、まだ液が二層に分離しており、均一ではありません。

この状態で噴射すると、中空ガラスビーズを含まない液が噴射されます。噴射される液の外観にはほとんど違いがありませんが、液が垂れやすく、断熱性能は期待できません。このまま半分くらい使用を続けると、中空ガラスビーズを多量に含んだ液が噴射されはじめ、非常に詰まりやすくなります。このまま詰まらずに使用できたとしても塗装された皮膜は脆く剥離しやすいものになります。

### 見分け方 :

缶を横にした状態から正立させた場合は、攪拌玉の音がしますが、横にした状態から倒立させた場合にはガラス球が中空ガラスビーズの層に当たるため、音がしません。



攪拌玉が動く状態

### 状態 3 :

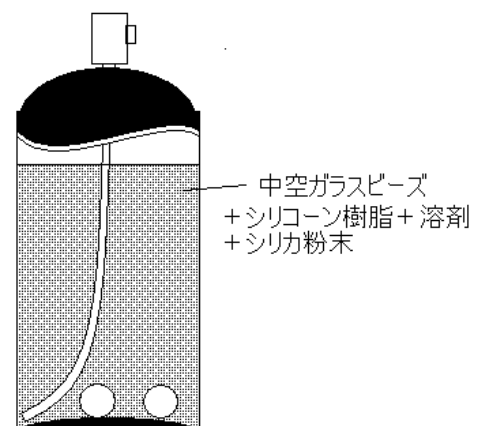
さらに缶を振ると、液が均一になります。

詰まりを防ぎ、断熱性能を最大限に発揮させるためにはこの状態まで缶を振る必要があります。

### 見分け方 :

缶を横にした状態から正立させた場合も、倒立させた場合もガラス玉が缶に当たる音がします。

30秒から1分ほど缶を振るとこの状態になります。



均一な状態